

シグマ研究委員会核データ専門部会
ガンマ線生成核データW.G. 昭和57年度第1回会合議事録

日 時 昭和57年5月14日(金) 13:30 ~ 17:30
場 所 原研本部 役員会議室
出席者 水本, 浅見(哲), 五十嵐(原研), 川合(将), 肥田(NAIG),
山越(船研), 河北(MAPI), 井頭, 播磨, 北沢(東工大)
オブザーバー: 飯島(NAIG)

新メンバー紹介

昭和57年度から, 当評価グループにNAIG総合研究所の肥田和毅氏が加わり, 同氏の挨拶があった。

議 事

I 一般報告(五十嵐)

- 1) 昭和57年度のシグマ研究委員会主査に原田氏(原研)が決定したことの報告, および新運営委員会, 諮問委員会メンバーの紹介があった。
- 2) 医学用核データW.G.の発足の気運。多分核構造専門部会の中に置かれるであろう。
- 3) NEAの炉物理委員会でData Bank参加国でJoint Fileをつくる案が出された。
- 4) 最近中国の核データ研究活動が活発になってきたので, 今後, 核データ研究に関する中国と日本の協力という事が考えられるであろう。
- 5) 昭和58年1月でシグマ研究委員会発足以来20年になるので, 今年の核データ研究は20周年記念研究会にするという案がある。

II 作業経過訪告

- 1) ガンマ線核データ評価およびデータのファイル化の際の問題点が列挙され, それについて議論が行われた。

2) FP核データ評価W.G.の飯島氏から、共通の光学ポテンシャル・パラメータおよびレベル密度パラメータを持ちたいという要請が出された。